



難が有るから・・・「有り難い」

校長 金山 達也

「難が無いのは無難な人生、難が有るからありがたい」

これは、東京オリンピック、パラリンピックの代表選手を紹介する番組で、パラリンピックのフルマラソンに出場する予定の道下美里選手が話していた言葉です。

道下選手について、調べてみました。小学校4年生の時に病気で右目の視力を失い、短大卒業後まもなく、同じ病気で左目の視力も極度に低下。社会復帰に向けて、26歳で盲学校に入学し、ダイエットで始めたマラソンにはまっていったそうです。2014年には、重度弱視というクラスでの世界新記録を樹立。2016年リオデジャネイロパラリンピックで銀メダルを獲得。2020東京パラリンピックで金メダルを目指している選手です。

困難なことが多ければ多いほど、苦労はしますが達成感や満足感はその分大きくなります。何事も無くできればそれに越したことはありません。しかし、今はコロナ禍です。誰もが困難な状況の中で苦労しており、制限のある中で自分ができることに尽力しています。その状況を素直に有り難いと・・・思いたくはありませんが、前向きに受け止めるための一つの考え方としては表題の言葉は私自身納得できました。

子供に対して、できれば無難な人生を送ってほしいと親は思いますが、困難な状況は生きていく中でたくさん遭遇します。困難から逃げられないとすれば、前向きに考えることがより大切になってきます。困難に立ち向かうための原動力になるのはやはり「気持ち」です。困難が有るとわかっているならば、事前に準備して対応ができる、気持ちのゆとりもできる、何より自分自身が成長できる・・・ありがたい。そんな気持ちの持ち方も大切だと思うのです。

現在、北海道全域に2度目の緊急事態宣言が出され、北海道の感染者数は連日500人(5月21日現在)を越え、近郊である旭川市も重症病床数が埋まってきている状態です。

残念ではありますが、5月29日に予定していた体育大会は延期をせざるを得ませんでした。6月12日に延期しましたが、緊急事態宣言の延長次第で更に延期の可能性もでてきます。教員も生徒も不安を抱えている状態ですが、それでも生徒は、長縄跳び、綱引き、リレーと感染症対策を十分に行いながら、仲間と共に取り組んでいます。何とか実施したいと思うばかりです。

美馬牛の扉

学習指導要領改訂

昨年度から小学校、今年度から中学校、来年度は高校で学習指導要領が改訂され(てい)ます。およそ10年ごとに改訂しており、今回の目玉は予測できない困難に主体的に立ち向かえる「生きる力」を身につけることです。そのため「主体的・対話的で深い学び」をどう作るかなど、学校でも発想を新たに取り組むべきことが多くあります。4月の参観日でお話しした評価・評定の変更もその一環です。

修学旅行、行ってきました！

3年生にとって中学校生活最大の思い出となるであろう修学旅行、4月25日（日）から3泊4日の日程で函館、ニセコ方面へ行ってきました。コロナの関係でさまざまな制約もありましたが、天候に恵まれ、生徒たちはルールを守って整然と行動していたとのこと。そのかいあってか、函館山の夜景は今までにないほどキレイだったとか…。



駐車スペースの線、キレイになりました！



年明けから校務補のお仕事をしてくださっている中島さん、連休明けから玄関前の駐車スペースの線を書き替えてくださいました。写真の『来客用』の表示は熊谷養護教諭の協力によるものです。おかげで見栄えがすっかりよくなりました。体育大会等においてになる保護者の皆様には「成果」を見て頂けるものと思います。

6月の主な行事予定

1日(火)	全校集会	15日(火)	常任委員会
2日(水)	教育相談(～4日)	16日(水)	職員会議(午前授業)
7日(月)	避難訓練	17日(木)	期末テスト(18日もこの日のみ午前授業)
10日(木)	体育大会総練習	24日(木)	中体連地区大会壮行会
12日(土)	体育大会	25日(金)	中体連上二地区大会(～27日)
14日(月)	振替休業	30日(水)	全校集会



※本通信は、個人情報保護の観点から、ご家庭でのみお読みください。